

陸前高田発

漂流ポストの手紙供養



震災で失った大切な人への思いを綴った手紙の供養が陸前高田市広田町の慈恩寺で営まれました。手紙は市内にある私設の『漂流ポスト』

と呼ばれるポストに、全国から届いたり、直接投函されたりしたもので、およそ120通の供養が執り行われました。震災から4年半、漂流ポストは心の中に生き続ける大切な人への手紙を受け取り続けます。(10/8 ニュースエコー)



盛岡発

高木復興大臣が来県

10月7日の内閣改造で新たに就任した高木毅復興大臣が岩手入りし、達増知事と意見交換しました。高木大臣は「小まめに被災地に足を運び、被災者に寄り添いながら復興を成し遂げるため努力する」と述べました。(10/10 ニュース)



宮古発

田老地区体育大会



東日本大震災の津波で大きな被害を受けた宮古市田老地区では、終戦直後から続く地区最大のイベントの体育大会が行われました。大会には復興事業に携わる関係者も初めて参加。参加者は心地よい汗を流しながら、改めてふるさとの復興を誓い合っていました。

(10/11 ニュース)



大船渡発

復興支援の無料ライブ



沿岸被災地の人たちを励まそうと、歌手の福田こうへいさんが10月10日と11日の2日間、沿岸部の5か所で復興支援の無料ライブを行いました。大船渡市で行われたライブにも大勢の市民やファンが集まり、歌声に聞き入っていました。福田さんは、「また帰ってくる」と笑顔を見せ、被災地支援の継続に意欲を見せていました。(10/11 ニュース)

大槌発

民間ヘリで救助訓練

大津波など大規模な災害の際に民間のヘリコプターを活用する訓練が大槌町で行われました。特別養護老人ホームなどを運営する大槌



町の社会福祉法人「堤福祉会」では、東日本大震災の際に施設に避難したけが人の救助が遅れた教訓から、民間のヘリコプターの活用に取り出し、埼玉県のNPOと災害協定を結び、毎年訓練を行っています。訓練には5機のヘリコプターと高齢者施設の職員など80人が参加し、ヘリの誘導やけが人の救助・搬送訓練を行いました。

(10/13 ニュースエコー)

大槌発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、大槌町公民館安渡(あんど)分館の館長・関洋次さんに、再建される安渡分館についてお話を伺いました。安渡分館は大震災で被災し、現在は仮設分館ですが、400人近くの地区住民に対し30人ほどしか収容できませんでした。新たに建設される分館は地場産の木材を使用した平屋建てで、お年寄りや体の不自由な方も利用しやすいようにバリアフリーの造りとのことです。また「木のぬくもりを感じる集いの場」として「避難ホール」も備えているとのことです。(10/14)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122